

敷地内にラックを新設

熊谷木材工業



資材保管用に新設したラック

熊谷木材工業（埼玉県熊谷市、飯塚秀司社長）は、プレカット工場がある同社敷地内に資材保管用の大型ラックを設置した。ラック

の高さは約6メートル。ラックがあるテントの大きさは縦横約18メートル。用途はプレカットした資材の保管で、部材ごとに邸別で仕分けし、出荷時の時間をおき、短縮につなげる。

同社プレカットは受注量を伸ばしており、現在は月間2000坪以上を加工している。CADオペレーターも増員しており、加工能力に対してCAD対応力が追い付いてきた。また今後は新たな設備投資も見据え、月間2500～3000坪の加工体制を目指す。

資材保管倉庫となるラックの設置は、需要が増加傾向にあるプレカットの生産効率化にも貢献する。